

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 5 日

仕 事 の 内 容	市長と語ろう会（タウンミーティング）事業					
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係	課長名	荒井亮二

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。		施 策 番 号	行 - 3	-
【施策名】 市民自治の向上		総 合 計 画 書 (ページ)	127	ペー ジ

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	事業 1	企画業務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	------	-------

1	ここの仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 市民	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 市民の数（4月1日現在）
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行うことにより、市民の市政に関する理解の促進を図る	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 市民意識調査における「市民参画のまちづくりの推進」に関する市民満足度の割合
		③ そのために何をしましたか。 ①市長の指示伺いを行い、市長と語ろう会（タウンミーティング）のテーマ、開催時期、開催回数等の方針を決定する。 ②テーマごとに主管部を決め、主管部とともに、市長と語ろう会（タウンミーティング）の開催内容を検討し、市長の指示伺いを経て、開催内容を決定する。	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） ①タウンミーティングのテーマ数 ②開催回数（単位：回） ③参加人数（単位：人）

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	86,044	85,698	85,337	/	/
		成果指標	②の数値	%	10.8	11.1	集計中	/	/
		目 標	②の目標値				12.080	12.720	13.340
			目標値設定の考え方	第四次基本計画の目標値（平成33年度14.00%）					
活動指標	③の数値	①個 ②回 ③人	①2 ②4 ③80	①2 ②3 ③67	①2 ②2 ③95	/	/		

3	経費	事業費（実績）		円	0	16,863	0	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
		財源	一般財源	円	0	16,863	0	
			特定財源	円	0	0	0	
			（うち受益者負担）	円	0	0	0	
		人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1	
			所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
			職員人件費(再任用以外)	円	826,700	825,300	824,400	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
事業費+人件費		円	826,700	842,163	824,400			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。
		市民と市長が市政運営に関して率直な意見交換を行い、市民の市政に関する理解の促進と市民に開かれた市政運営の推進を図ることを目的に平成23年度から「市長と語ろう会（タウンミーティング）」を開催した。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
		参加人数については、開始当初と比較して近年減少傾向にあったことから、参加者数の増や、テーマに合った方々にご参加いただくことを目的として、高齢者が多数参加する「介護予防講演会」や、親子で参加できる「かるがもミニ運動会」と同時に開催した。

仕 事 の 内 容	市長と語る会（タウンミーティング）事業				
担当部署・課長名	企画	課	企画担当	係	課長名 荒井亮二

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	市のイベントである「介護予防講演会」や「かるがもミニ運動会」と同時に開催したことについて、肯定的な意見をいただくこともあった。（行事と同時開催して良かった等）				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組んだ	取組手法	③、⑥、⑦ 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点 参加した方について、全員が意見等を発言しているわけではない。意見交換の場として、より多くの方に発言してもらえるような進行や仕組み作りが必要ではないかを感じる。				
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 ①開始から7年度が経過し、参加人数が減少傾向にある。 ②若い世代や子育て世帯の方の参加が少ない。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 ①市のイベントに引き続き、同日に開催した。 ②子育て世帯の方が参加する「かるがもミニ運動会」と同時に開催した。				
	(3)(2)を踏まえた今後の課題 引き続き、幅広い世代の方々やテーマに合った方々にご参加いただけるよう開催方法を工夫していく必要がある。				
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） ・平成30年度は高齢者及び子育て世代を対象としたことから、今後も幅広い世代の方々にご参加いただけるような内容を検討していく。 ・より多くの人に参加してもらえるよう、広報手段として、ポスター掲示、市報、ホームページのほか、ツイッターやフェイスブックを有効活用する。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 より多くの人に参加してもらえるような開催内容を検討する。また、広報については、広報担当部署である秘書広報課と連携を図り、迅速で効果的な広報を行う。				
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。			経費	仕事の経費は維持する。